

(1)

$C_1$ と $C_2$ の交点の $x$ 座標が $\alpha$ であることから、

$$k \cos \alpha = \frac{1}{k} \sin \alpha$$

$$\Leftrightarrow \sin \alpha = k^2 \cos \alpha$$

が成り立つ。これを $\sin^2 \alpha + \cos^2 \alpha = 1$ に代入すると、

$$(k^4 + 1) \cos^2 \alpha = 1$$

$$\Leftrightarrow \cos^2 \alpha = \frac{1}{k^4 + 1}$$

となり、 $0 \leq \alpha \leq \frac{\pi}{2}$  より、 $\cos \alpha \geq 0$  であるから、

$$\cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{k^4 + 1}}$$

である。したがって、

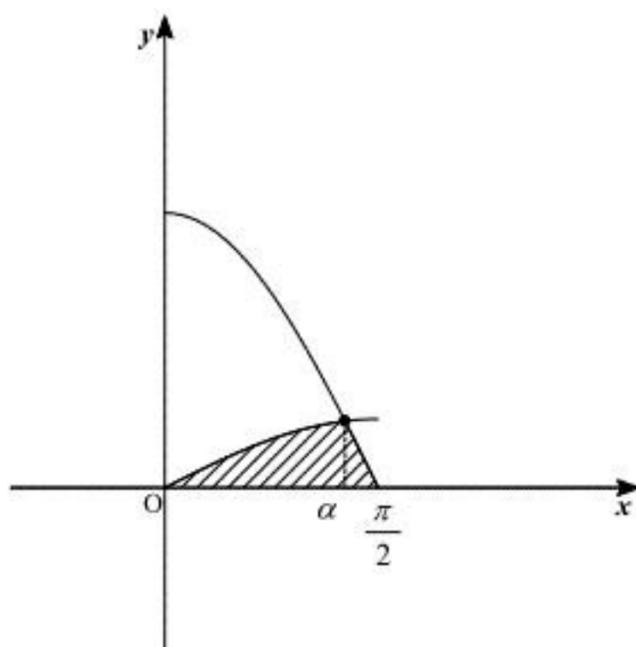
$$\sin \alpha = \frac{k^2}{\sqrt{k^4 + 1}}$$

である。

$$(答) \cos \alpha = \frac{1}{\sqrt{k^4 + 1}}, \sin \alpha = \frac{k^2}{\sqrt{k^4 + 1}}$$

(2)

$C_1$ と $C_2$ と $x$ 軸に囲まれた図形は、下図の斜線部である。



したがって、求める面積は、

$$S(k) = \int_0^{\alpha} \frac{1}{k} \sin x dx + \int_{\alpha}^{\frac{\pi}{2}} k \cos x dx$$

$$= \frac{1}{k} [-\cos x]_0^{\alpha} + k [\sin x]_{\alpha}^{\frac{\pi}{2}}$$

$$= \frac{1}{k} (1 - \cos \alpha) + k (1 - \sin \alpha)$$

となる。ここで、(1)の答を代入すると、

$$S(k) = k + \frac{1}{k} - \sqrt{k^2 + \frac{1}{k^2}}$$

と表せる。

$$(答) S(k) = k + \frac{1}{k} - \sqrt{k^2 + \frac{1}{k^2}}$$

(3)

$S(k)$ は

$$S(k) = k + \frac{1}{k} - \sqrt{\left(k + \frac{1}{k}\right)^2 - 2}$$

と書き換えることができる。ここで、 $l = k + \frac{1}{k}$  とおくと、 $l$ のとりうる範囲は、 $k > 0$ より相加平均と相乗平均の関係から、

$$k + \frac{1}{k} \geq 2\sqrt{k \cdot \frac{1}{k}} = 2 \quad (\text{ただし等号が成立するのは、} k=1 \text{のときである。})$$

であることより、

$$l \geq 2$$

である。また、このとき $S(k)$ は、

$$S(k) = l - \sqrt{l^2 - 2}$$

とかける。右辺を $f(l)$ とおく。 $f(l)$ を $l$ で微分すると、

$$f'(l) = 1 - \frac{l}{\sqrt{l^2 - 2}}$$

となり、 $l \geq 2$ のとき、常に $l > \sqrt{l^2 - 2}$ であるから、

$$f'(l) < 0$$

である。よって $f(l)$ は $l \geq 2$ において単調減少する関数であり、その最大値をとるのは $l=2$ のとき、すなわち $k=1$ のときであり、その値は $2 - \sqrt{2}$ である。

$$(答) \text{最大値 } 2 - \sqrt{2}$$

(1)

 $\triangle PAB$  の面積  $S_1$  は

$$S_1 = \frac{1}{2} \times AB \times PK_1$$

とかける。また、 $\triangle HAB$  の面積  $S$  は

$$S = \frac{1}{2} \times AB \times HK_1$$

とかける。ここで、

$$\cos \alpha_1 = \frac{HK_1}{PK_1}$$

であるから、

$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} \times AB \times PK_1 \cos \alpha_1 \\ &= S_1 \cos \alpha_1 \end{aligned}$$

である。

(答)  $S_1 \cos \alpha_1$ 

(2)

(1)と同様にして、 $\triangle HBC$  の面積は、 $S_2 \cos \alpha_2$ 、 $\triangle HCA$  の面積は、 $S_3 \cos \alpha_3$  である。よって、

$$\begin{aligned} \triangle ABC &= \triangle HAB + \triangle HBC + \triangle HCA \\ &= S_1 \cos \alpha_1 + S_2 \cos \alpha_2 + S_3 \cos \alpha_3 \end{aligned}$$

である。

また、 $\vec{l}_1$  は平面  $PAB$  に垂直であるから、 $\vec{l}_1$  と  $z$  軸のなす角は  $\alpha_1$  である。したがって、

$$(\vec{l}_1 \text{ の } z \text{ 成分}) = |\vec{l}_1| \cos \alpha_1 = S_1 \cos \alpha_1$$

であり、同様にして、 $\vec{l}_2$  の  $z$  成分は、 $S_2 \cos \alpha_2$ 、 $\vec{l}_3$  の  $z$  成分は、 $S_3 \cos \alpha_3$  であるから、

$$\begin{aligned} (\vec{l}_1 + \vec{l}_2 + \vec{l}_3 \text{ の } z \text{ 成分}) &= (\vec{l}_1 \text{ の } z \text{ 成分}) + (\vec{l}_2 \text{ の } z \text{ 成分}) + (\vec{l}_3 \text{ の } z \text{ 成分}) \\ &= S_1 \cos \alpha_1 + S_2 \cos \alpha_2 + S_3 \cos \alpha_3 \end{aligned}$$

である。以上より、

$$(\vec{l}_1 + \vec{l}_2 + \vec{l}_3 \text{ の } z \text{ 成分}) = \triangle ABC$$

が成り立つ。

(証明終)

(3)

まず、

$$S_1 = \frac{1}{2} \times AB \times PK_1$$

$$S_2 = \frac{1}{2} \times BC \times PK_2$$

$$S_3 = \frac{1}{2} \times CA \times PK_3$$

とかける。ここで、

$$PH = PK_1 \sin \alpha_1 = PK_2 \sin \alpha_2 = PK_3 \sin \alpha_3$$

であるから、これを代入すると、

$$AB = \frac{2}{PH} \times S_1 \sin \alpha_1$$

$$BC = \frac{2}{PH} \times S_2 \sin \alpha_2$$

$$CA = \frac{2}{PH} \times S_3 \sin \alpha_3$$

である。よって、

$$AB : BC : CA = S_1 \sin \alpha_1 : S_2 \sin \alpha_2 : S_3 \sin \alpha_3$$

である。

(答)  $AB : BC : CA = S_1 \sin \alpha_1 : S_2 \sin \alpha_2 : S_3 \sin \alpha_3$

まず、与式を書き換えて、

$$\int_1^e \log(ax) dx = \int_1^e x dx \cdot \int_1^e \frac{\log(ax)}{x} dx$$

である。これを計算すると、

$$\Leftrightarrow [x \log(ax) - x]_1^e = \left[ \frac{1}{2} x^2 \right]_1^e \left[ \frac{1}{2} \{ \log(ax) \}^2 \right]_1^e$$

$$\Leftrightarrow (e-1) \log a + 1 = \frac{1}{2} (e^2 - 1) \left( \frac{1}{2} + \log a \right)$$

$$\Leftrightarrow \frac{1}{2} (e-1)^2 \log a = -\frac{1}{4} (e^2 - 5)$$

$$\Leftrightarrow \log a = -\frac{e^2 - 5}{2(e-1)^2}$$

である。

$$\text{(答)} \quad \log a = -\frac{e^2 - 5}{2(e-1)^2}$$

(i)に  $n=1, 2$  を代入すると,

$$a_1 = 1 + \frac{1}{1} = 2$$

$$a_2 = p = r + \frac{1}{r} \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\Leftrightarrow r^2 - pr + 1 = 0 \quad \dots \textcircled{2}$$

となる。

(1)

(i), ①を用いて計算すると,

$$\begin{aligned} pa_{n+1} - a_n &= \left(r + \frac{1}{r}\right) \left(r^n + \frac{1}{r^n}\right) - \left(r^{n-1} + \frac{1}{r^{n-1}}\right) \\ &= r^{n+1} + \frac{1}{r^{n+1}} \\ &= a_{n+2} \end{aligned}$$

となる。よって、すべての自然数  $n$  について、 $a_{n+2} = pa_{n+1} - a_n$  が成り立つ。

(証明終)

(2)

$$\begin{aligned} a_3 &= pa_2 - a_1 \\ &= p^2 - 2 \end{aligned}$$

である。(iii)の条件から

$$p^2 - 2 \leq 13$$

である。 $p > 0$  であるから,

$$0 < p \leq \sqrt{15}$$

である。 $p$  は自然数であるから,

$$p = 1, 2, 3$$

である。それぞれについて、②に代入して考える。

[1]  $p=1$  のとき

$r^2 - r + 1 = 0$  であるが、これは実数解を持たないので不適である。

[2]  $p=2$  のとき

$$r^2 - 2r + 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow (r-1)^2 = 0$$

$$\Leftrightarrow r = 1$$

であるが、 $r > 1$  であるので、不適である。

[3]  $p=3$  のとき

$$r^2 - 3r + 1 = 0$$

$$\Leftrightarrow r = \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

である。 $r > 1$  であるので、 $r = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$  である。

以上、[1], [2], [3]より、 $p=3, r = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$  である。

$$(\text{答}) \quad p=3, r = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$$

(3)

(2)より、 $a_{n+2} = 3a_{n+1} - a_n$  であるから、

$$a_n \text{ が } 3 \text{ の倍数である} \Leftrightarrow a_{n+2} \text{ が } 3 \text{ の倍数である}$$

が成り立つ。また、 $a_1 = 2$  は 3 の倍数ではなく、 $a_2 = 3$  は 3 の倍数であるから、 $n$  が偶数のとき、かつそのときに限り、 $a_n$  は 3 の倍数になる。したがって求める答えは、

$$\sum_{k=1}^m a_{2k} \quad \dots \textcircled{3}$$

である。

ここで、 $a_n$  の一般項を求める。 $a_{n+2} = 3a_{n+1} - a_n$  の特性方程式  $x^2 = 3x - 1$  を解くと、 $x = \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$

である。だから、

$$\begin{aligned} a_{n+1} - \frac{3 + \sqrt{5}}{2} a_n &= \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \left( a_n - \frac{3 + \sqrt{5}}{2} a_{n-1} \right) \\ &= \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1} \left( a_2 - \frac{3 + \sqrt{5}}{2} a_1 \right) \\ &= -\sqrt{5} \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} a_{n+1} - \frac{3 - \sqrt{5}}{2} a_n &= \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \left( a_n - \frac{3 - \sqrt{5}}{2} a_{n-1} \right) \\ &= \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1} \left( a_2 - \frac{3 - \sqrt{5}}{2} a_1 \right) \\ &= \sqrt{5} \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1} \end{aligned}$$

となる。これを  $a_{n+1}$  を消去して  $a_n$  について解くと、

$$a_n = \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1} + \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right)^{n-1}$$

である。したがって、これを③に代入し、

$$\begin{aligned} &\sum_{k=1}^m \left\{ \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right)^{2k-1} + \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right)^{2k-1} \right\} \\ &= \sum_{k=1}^m \left\{ \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right) \left( \frac{7 - 3\sqrt{5}}{2} \right)^{k-1} + \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right) \left( \frac{7 + 3\sqrt{5}}{2} \right)^{k-1} \right\} \\ &= \left( \frac{3 - \sqrt{5}}{2} \right) \frac{\left( \frac{7 - 3\sqrt{5}}{2} \right)^m - 1}{\left( \frac{7 - 3\sqrt{5}}{2} \right) - 1} + \left( \frac{3 + \sqrt{5}}{2} \right) \frac{\left( \frac{7 + 3\sqrt{5}}{2} \right)^m - 1}{\left( \frac{7 + 3\sqrt{5}}{2} \right) - 1} \\ &= \frac{1}{\sqrt{5}} \left\{ \left( \frac{7 + 3\sqrt{5}}{2} \right)^m - \left( \frac{7 - 3\sqrt{5}}{2} \right)^m \right\} \end{aligned}$$

と求まる。

$$(\text{答}) \quad \frac{1}{\sqrt{5}} \left\{ \left( \frac{7 + 3\sqrt{5}}{2} \right)^m - \left( \frac{7 - 3\sqrt{5}}{2} \right)^m \right\}$$